

春の味覚

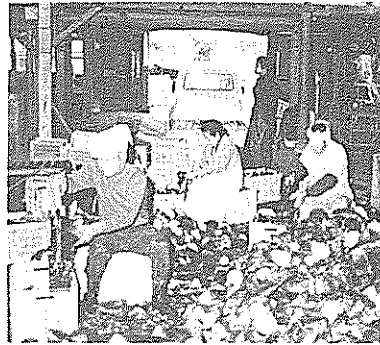
タケノコの出荷盛ん

《白木谷》

「梅とタケノコの里」として知られる白木谷では今、タケノコの出荷が盛んに行われています。今年、昨年の夏に雨が少なかったため成育が悪く、昨年出荷の

三〇倍ぐらいの見込みとか。現在の栽培農家は百五十戸、缶詰工場は三方所あります。白木谷のタケノコは土が良いせいか味が良く、県下的に知られてはついています。

市農協上倉支所の缶詰工場では毎日堀りたてのタケノコが運ばれ加工作業に多忙し。おいしいタケノコは、まだ地表に頭が出ていないのがよく、土が少し盛り上がったところを掘り当てるのがコツで、素人にはなかなか難しいとのこと。山菜との煮物、タケノコご飯など、春の味覚が、私たちの食卓を当分の間にぎわしてくれそうです。



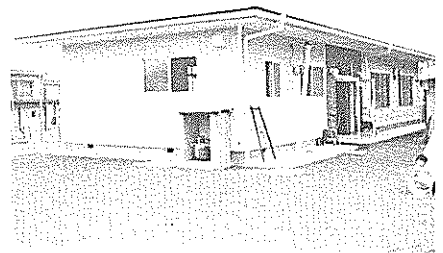
休む間もないタケノコの缶詰工場 一作業は5月末まで続く



おいしい、タケノコがどっさり

中央老人憩の家が完成

老人の生きがい対策として



完成した中央老人憩の家

お年寄りの生きがい対策としての健康管理や、学習、親ぼくの場として、甘枝の市立第五児童遊園地内に、中央老人憩の家がこのほど完成、四月九日落成式が行われました。

この施設は、県の補助を受けて、九〇〇万円で建築。木造平屋建て、約九十平方メートルで、談話室、ホール、調理室などとなつています。落成式には、地元関係者ら四十人が出席。浜田助役が「お年寄りだけでなく、子ども会など地域全体の触れ合い、学習の場として活用してほしい」とあいさつ、全員で完成を祝いました。

南国歌壇

大橋の奥山川の明岸に

仰ぎみる嶺を雪ののこれる

大埔 中田憲秀

茗葉台に息子等が住まうとふマン
シヨンの 見取図開きくり返し
見る 西島 岡林きよ
向いなる翠平山に春めくり
楓播きいそぎしこと幾度ぞ

里改田 森国敬治

なつかしき老人会の花見宴

野山の桜今日晴れ姿

中谷 西川雪於

遙かなる山間峰は白々と
樹氷のごとしちぎり絵はりて
下野田 北村優美子
苦勞せし老後の母の盲目の
杖はおもたし何がさだめぞ

里改田 下総一子

南国柳壇

制服の娘がママの衿なおし

十市 大家寿恵子

幸せや無縁仏へ残り水
植田 吉本其梅
花はなく花見の宴で風邪を引く
古市 島田稔子
ひん孫のお守り楽しく患病も消え
西山 竹村寿賀

南国俳壇

注ぐ湯にんえて開き桜漬

ほぐれゆく木の芽朝なの愉しみに

松淵恵子(柿の実念)

さびしさの恰口中に花曇り
暗室へ水を引き込む さるすべり
サーファーの焚火 ゆらりと軍艦過ぐ
喪の家に沙騒群れる臘月
春一番博覧会が行きどまり
三月の飛雪女の性知るや

川島晋可()
海淵なおい()
山崎勝子(市民句会)

櫻谷雅道()
森本昌臣()
岡田寿子(花柳俳句会)
福井英子()
岡田昌子()